

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価

項目① 基本戦略に基づく行動計画の実施状況について

進捗状況評価	S	A	B	C	計
29年度	7個	10個	4個	0個	21個
	33.3%	47.6%	19.0%	0.0%	100.0%

資料3-①

基本戦略	基本戦略に基づく行動計画	評価 29年度	取組 期間 ※	取組主体					平成29年度 の取組み (実績)	平成30年度 以降の取組み (予定)	
				卸	仲卸	関連 事業者等	開設者	指定 管理者			
1 流通の変化に対応した「機動性」のある市場											
広域的な集荷・転送・分荷機能の強化	(1) 荷捌き・積み込みスペースの充実	A	短期	○	○	○	○	○	○	○青果棟2階のプラットフォームについては、27年度に大屋根設置工事を実施しているが、荷捌き・積み込みスペースの更なる充実のため、指定管理者においてプラットフォーム入口までの延長工事のための構造計算及び積算業務を実施した。	○指定管理者が検討を進める青果2階プラットフォームの大屋根拡張整備について、31年3月末竣工予定である。
	(2) 車両動線の確保による、長距離ドライバーの待機・荷下ろし時間の短縮	A	短期	○	○	○	○	○	○	○青果大通りの混雑解消と車両動線を確保するため、現況調査を行い青果卸・仲卸組合と協議のうえ、29年11月に指定管理者がパレット一時保管スペースの区画ライン引き(幅4.1m、全長307.5m)を実施し、一時保管のルールを場内事業者に対して再度周知した。 これにより、荷物のはみ出しがなくなり、車両通行もスムーズになった。  ○パレットが青果大通りにはみ出して置かれているため、指定管理者において不要なパレットの受入・処分を行った。	○産地配送車等の場内物流動線の効率性を確保するとともに、駐車スペースや荷捌きスペースを確保するため、(4)「駐車場区画の見直し」の取り組みとセットで平面駐車場の植込みの移設や外周道路の再編等について検討する。
	(3) 場内事業者が実施する輸出の取組みに対する環境整備	B	短期	○	○	○	○	○	○	○輸出への取組みを促すための改正業務規程の施行(H29.4)を受け、ハラル市場向けの取引を行っているシンガポールの貿易業者が来場した際、場内仲卸業者他を対象とした商談説明会の開催を支援した。【29年7月開催 参加者約60名】  ○戦略的に輸出促進に取り組んでいる農林水産省との意見交換会を複数回行うとともに、29年11月に府流通対策室や指定管理者とともに府内にある輸出拠点施設の見学を実施した。	○国から得た輸出に関する補助制度、セミナーや商談会等の開催情報を随時、場内事業者へ情報提供するとともに、機会あるごとに仲卸業者へ意見を求めるなど、輸出に取り組む機運の醸成に努めていく。
	(4) 駐車場区画の見直し	A	中期	○	○	○	○	○	○	○場内業者からの要請を受け、指定管理者において水産棟事務所周りの駐車区画の幅員拡幅工事(2.3m→2.5m)を29年11月に完了した。  ○府から指定管理者に依頼して実施する青果C立体駐車場の塗膜防水改修工事及び駐車区画の幅員拡幅工事は、年度内に完了した。 【施工面積：3,240㎡ 工事費：4,158万円】	○指定管理者による青果棟事務所周りの駐車区画の幅員拡幅工事が、30年8月に完了した。 今後、有料駐車場の再編も含め、必要区画数を確定し、駐車スペースの活用方法について検討する。

S：実施し、顕著な成果を上げているもの  
A：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの  
B：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの  
C：未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価  
 項目① 基本戦略に基づく行動計画の実施状況について

進捗状況評価	S	A	B	C	計
29年度	7個 33.3%	10個 47.6%	4個 19.0%	0個 0.0%	21個 100.0%

資料3-①

基本戦略	基本戦略に基づく行動計画	評価 29年度	取組 期間 ※	取組主体					平成29年度 の取組み (実績)	平成30年度 以降の取組み (予定)	
				卸	仲卸	関連 事業者等	開設者	指定 管理者			
2 ニーズに対応した「付加価値」を重視する市場											
コールドチェーン化の推進、加工機能等の充実	(1)電気容量の増強、機能強化	A	短期	○	○			○	○	○府において電気容量の増強と機能強化に向け、高圧受変電設備（冷蔵庫棟、管理棟、一般加工棟）の改修工事を行った。 【工事費：2億5,051万円 工期：平成29年6月～30年3月】	○30年度竣工予定の改修工事 府：直流電源設備改修（青果棟） 【工事費：6,539万円 工期：平成30年7月～31年2月】 指定管理者：青果仲卸棟（B・Cブロック）の低圧幹線設備改修 【工事費：1億562万円 工期：平成30年8月～31年3月】 （府の依頼により指定管理者が実施）  ○32～33年度改修工事予定【総額：約2億8,500万円（予定）】 府：高圧受変電設備改修（西冷蔵庫）、高圧幹線設備改修（冷蔵庫棟発電系統）、中央監視設備改修（冷蔵庫棟）
	(2)加工施設や冷蔵庫の自主的整備	A	中期	○	○	○				○青果仲卸業者(2社)が自ら店舗内に保冷用エアコン及びビニール間仕切りの設置やプレハブ冷蔵庫を整備した。  ○引き続き、場内業者による自主的な整備に必要な助言を行っていく。	
	(3)市場冷蔵庫の活用	A	短期	○	○	○	○	○	○	○市場冷蔵庫施設を運営する(株)北部冷蔵サービスセンターにおいて、新規の利用者を獲得するための営業活動を行い、新たに3件の成約を取り付けた。  ○荷受け保管料（マグロ加工品の保管料）の見直しや、高架下冷蔵庫賃貸料を見直すなど収入の確保に努めた。	○引き続き、市場冷蔵庫施設を運営する(株)北部冷蔵サービスセンターにおいて、営業活動を行い新規の利用者を獲得するなど収入の確保と経費の削減に努めていく。
	(4)空店舗・施設の活用	A	短期	○	○	○	○	○	○	○指定管理者において仲卸業者に対する個別の働きかけや、ホームページ等で広報を行い空き施設の解消に努めている。また、使用許可の基準の見直しを行うことにより、許可対象者を拡大した。 【仲卸店舗稼働率：95.2% 仲卸事務所稼働率：78.9%】  ○指定管理者においてセリ場や公共スペースを不適正に使用している業者を個別に指導し、退去させることにより空き店舗への利用を促すとともに、場内ルールの徹底により、施設の公平公正な利用に努めた。	○ホームページの内容を充実し、新規参入者の入居を促すなど、指定管理者において空施設の解消に努めるとともに、共有スペースの不適正な使用を排除し、空き店舗の利用を促す。 <4-12月実績> 【仲卸店舗稼働率：94.2% 仲卸事務所稼働率：77.1%】
	(5)遮熱対策(クーラー排熱対策、断熱塗装など)	A	中期	○	○			○	○	○水産仲卸業者が自社店舗に水冷式の冷凍庫・冷蔵庫を設置しており、府が設置する冷却塔及び仲卸店舗までの冷却水配管の老朽化に伴う設備改修工事の実施設計を府において行った。  ○指定管理者において水産仲卸売場の全面的な低温化手法について専門業者と具体的な検討を進めている。	○30年度竣工予定の改修工事 府：水産仲卸棟東系統冷却水設備改修 【工事費：1億3,824万円 工期：平成30年7月～31年2月】  ○指定管理者において水産仲卸売場の全面的な低温化手法について、30年12月に基本計画を策定し、具体的な低温化手法を検討する段階にきている。今後、市場の将来ビジョン等の検討と併せ、場内事業者と協議し、費用対効果も踏まえながら着実に取組みを進めていく。

S：実施し、顕著な成果を上げているもの  
 A：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの  
 B：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの  
 C：未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価  
 項目① 基本戦略に基づく行動計画の実施状況について

進捗状況評価	S	A	B	C	計
29年度	7個 33.3%	10個 47.6%	4個 19.0%	0個 0.0%	21個 100.0%

資料3-①

基本戦略	基本戦略に基づく行動計画	評価 29年度	取組 期間 ※	取組主体					平成29年度 の取組み (実績)	平成30年度以降 の取組み (予定)	
				卸	仲卸	関連 事業者等	開設者	指定 管理者			
3 「民間活力」をフルに活用する開かれた市場											
指定管理者 による効率的 な運営、外 部活力の導 入	(1)指定管理者による効率的な管理運営	S	継続	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハード面の活性化対策として、管理棟5～7階の未改修トイレ6か所の整備（88か所の改修工事が完了）、管理棟昇降機の改修、管理棟1階展示コーナーの改修などに取り組んだ。</li> <li>○民間会社のメリットを十分に発揮し、少数精鋭の社員で、サービス水準を低下させることなく徹底した経費の節減を図るなど効率的な運営を行い、大幅なコスト削減を実現した。</li> <li>○特に電気事業者と粘り強く価格交渉を行った上で事業者を変更した結果、年度途中から大幅な経費削減を実現した。 【従来契約に比べ：6,100万円／年、34.6%削減】</li> <li>○30年2月に第2回指定管理者評価委員会（弁護士、公認会計士、学識経験者で構成）を開催し非常に高い評価を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○31年2月に指定管理者評価委員会を開催し非常に高い評価を得た。評価委員会から寄せられた意見・提言を、指定管理者の次年度事業計画に反映させる。</li> <li>○引き続き、指定管理者において民間会社のメリットを十分に発揮し、サービス水準を低下させることなく徹底した経費の節減を図るなど効率的な運営を行い、コスト削減に努める。</li> </ul> <p>【災害復旧対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪北部地震や台風21号により市場施設は甚大な被害を受けたが、発生效后、直ちに場内の被害状況の確認、復旧工事の手配を行い、市場業務の継続のために迅速かつ適切な対応を行うなど市場施設の復旧に大きく貢献した。</li> </ul>
	(2)近郊売場の充実（大阪産（もん））	B	中期	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○府農と緑の総合事務所から、就農候補者の情報収集を継続しており、近郊の新規就農者を対象に卸売業者とのマッチングを実施した。</li> <li>○府農業大学校で学んでいる就農希望の1年生を対象に29年10月に場内勉強会を実施した。</li> <li>○30年1月～2月に実施した卸売業者検査において、近郊売場の充実に向けた今後の取組み予定を聞き取りした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営展望推進連絡会議の下、「近郊売場」をテーマとする個別会議を30年7月より開始し、関係者間で種々の方策について協議している。その中で、場内事業者や府農と緑の総合事務所と連携しなわの伝統野菜である「烏飼なす」の集荷・販売に成功したところ。この成功事例を31年夏以降も定着できるよう努めていくとともに、他の取り組みを進めていく。</li> <li>○また、農と緑の総合事務所や茨木市との連携により生産者情報の共有等を進めており、準農家向けに、市場への出荷に関する説明会や市場見学ツアーを実施し、出荷者の拡大を図っていく。</li> </ul>
	(3)買出人の増加に向けた取組みの実施	B	短期	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理者において連携大学の協力のもと、市場の紹介ポスターを作成、掲示し、市場PRに活用した。</li> <li>○買出人の増加に向け仲卸組合と意見交換を実施したほか、青果買出人駐車場において、業者ごとに区画と利用時間を設定するなど買出人の利便性の向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近郊売場の建物老朽化が進み、鉄骨の錆や塗装の剥がれが目立つため、指定管理者において、全面的に塗装の塗り替えを行い、イメージを刷新する。</li> <li>○経営展望推進連絡会議にて、買出人増加に向けた協議を行うとともに、買出人のアクセスポイントを研究し、広く当市場の魅力を伝えていくことを予定している。具体的には、近隣自治体や商工会議所に設置されている個人の飲食事業者を対象とした融資関連窓口、各種セミナー等において、当市場の魅力を伝えるチラシ等の配布に向け準備を進めていく。</li> </ul>

S：実施し、顕著な成果を上げているもの  
 A：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの  
 B：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの  
 C：未実施



大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価  
項目① 基本戦略に基づく行動計画の実施状況について

進捗状況評価	S	A	B	C	計
29年度	7個 33.3%	10個 47.6%	4個 19.0%	0個 0.0%	21個 100.0%

資料3-①

基本戦略	基本戦略に基づく行動計画	評価 29年度	取組 期間 ※	取組主体					平成29年度の実績	平成30年度以降の取組み (予定)
				卸	仲卸	関連 事業者等	開設者	指定 管理者		
4 場内外の連携強化で「活性化事業」に取り組む市場										
産地や量販店、大学等との共同事業の展開	(1)川上・川下との連携強化 (トップセールス、「市場まつり」等の冠イベント など)	S	継続	◎	◎	○	◎	◎	<p>■ 市場まつり等の実施</p> <p>○延べ16回にわたるイオンや阪神、松坂屋等量販店、百貨店での「中央卸売市場まつり」を開催し、連携大学が作成したレシピの配布・試食など販売促進と市場の知名度向上に努めた。</p> <p>○29年10月には1か月にわたる「魚食普及月間」イベント（阪神百貨店梅田本店と連携した大阪湾産等魚介類の販売等）を開催した。</p> <p>○各種イベントの開催にあたっては、市場広報大使「せりちゃん」を活用した。【23回】</p> <p>■ 産地との連携</p> <p>○香川県庵治漁協と連携しオリーブハマチのレシピ制作（29年11月、梅花女子大学生）を通じての魚食普及の推進と販売促進を図った。</p> <p>○追手門学院大学生が市場関係者と共にJA徳島北に赴き意見交換会を開催（29年12月）。こうのとりレンコンの収穫体験を実施するなど産地との交流を図った。</p> <p>○卸会社を通じ鳥取県や徳島県等の産地の協力を得て、大阪成蹊短期大学でのらっきょうと梅をテーマとした食育授業やケーキ製作のコンテスト開催に協力した。</p> <p>○仲卸業者の協力を得て、産地紹介のポップ作成や売り場でのコーナー設置の提案など、百貨店実店舗でのマネジメント実習に取組んだ。</p> <p>■ 食育関係その他</p> <p>○11月に開催する市場開放デーや中央卸売市場まつりにおける子供向け「模擬せり」の開催。</p> <p>○食育関係団体等との共同事業例：地域に出向いての「お魚料理教室」の開催（2回）、茨木市民対象の「魅力発見ツアー」（29年6月）の受け入れ、こどもの欠食・孤食に対応するため、仲卸業者の協力による「NPO法人茨木こども食堂」への食材提供（29年11月～）など。</p> <p>○29年7月から、立命館大学茨木キャンパスとの事業連携に向け同大学地域連携室との協議を進めている。</p>	<p>■ 市場まつり等の実施</p> <p>○イオンや阪神、松坂屋等量販店、百貨店での「中央卸売市場まつり」を開催し、連携大学が作成したレシピの配布・試食など販売促進と市場の知名度向上に努めている。【20回】（31年2月末現在）</p> <p>○30年10月には1か月にわたる「魚食普及月間」イベント（阪神百貨店梅田本店及び府水産課と連携した大阪湾産等魚介類の販売等）を開催した。</p> <p>○各種イベントの開催にあたっては、市場広報大使「せりちゃん」を活用した。【19回】（31年2月末現在）</p> <p>■ 産地との連携</p> <p>○梅花女子大学・・・「魚食普及月間」イベントに合わせ、府内漁港の協力により、大阪湾産の「タコ」等6品を使ったオリジナルレシピを開発。大阪湾産「サワラ」の試食や店頭でレシピを配布するなど、産地との連携を進めた。</p> <p>○追手門学院大学・・・産地及び仲卸業者の協力により、「若者の魚離れ、野菜不足の改善」をテーマとして開発する「追手井」が6年目を迎え、好評を得ている。また、産地の要請を受け、学食のオリジナルメニューを開発し、販売提供を行った。さらに、学園祭においても販売し、産地との連携を強化した。</p> <p>○大阪成蹊大学・同短期大学・・・卸会社を通じ佐賀県、鳥取県、徳島県、岐阜県等の産地の協力を得て、らっきょうと梅やトマト等をテーマとした食育授業や毎年開催する丼コンテスト等の開催に協力した。</p> <p>また、仲卸業者の協力を得て、産地紹介のポップ作成や売り場でのコーナー設置の提案など、百貨店実店舗でのマネジメント実習に取組んでいる。</p> <p>○開場40周年記念市場まつりの際に17道府県JA、水産メーカー4社の協力を得て、展示即売等を行った。</p> <p>○指定管理者において、徳島県漁業関係者との意見交換を実施した。</p> <p>■ 食育関係その他</p> <p>○開場40周年記念市場まつりや京阪百貨店での食育フェスタ等で子供向け「模擬せり」や「食育輪投げ」等の開催。</p> <p>○食育関係団体等との共同事業例：地域に出向いての「お魚料理教室」を2回開催。仲卸業者の協力を得て、「NPO法人茨木こども食堂」等に食材を提供。</p> <p>○卸会社を通じ徳島県の産地の協力を得て、保育園でのさつまいもの植え付け及び収穫体験を実施した。</p> <p>○立命館大学茨木キャンパスとの事業連携に向け、同大学地域連携室との協議を継続的に進める中、卸会社の協力により、同大学より初めてとなるインターンシップ生を受け入れた。</p>
	(2)大学やホテル、食育関係団体等との共同事業（イベント）	S	継続	○	○	○	◎	◎	<p>○小学生、近隣市民だけでなく、他府県市場や中国市場及びハラル市場関係者など、年間2,800人を超える市場見学者に対応し、市場機能をPRするなど市場の知名度向上を図っている。</p> <p>○市場開放デーや各種イベント開催にあたって、業界新聞などのメディアに事前告知することで、紙面等に取り上げられる頻度が向上した。</p>	<p>○小学生、近隣市民だけでなく、他府県市場や韓国・東ジャワ州などからの見学者に対応し、市場機能をPRするなど市場の知名度向上を図っている。</p> <p>○開場40周年記念市場まつりや各種イベント開催にあたって、業界新聞などのメディアに事前告知することや鉄道会社等の協力により、紙面等で幅広くアピールしている。</p>
	(3)見学者対応の充実、メディア戦略	S	継続	○	○	○	○	◎	<p>○ネットを活用した販売チャネルの拡大支援を実施。 (ネットショップで仕入元として掲載された仲卸業者9社)</p>	<p>○ネットを活用した販売チャネルの拡大支援を実施していく。 (ネットショップで仕入元として掲載された仲卸業者19社)</p>
	(4)ネットを活用した販売チャネルの拡大	B	継続	◎	◎	○	○	○		

S：実施し、顕著な成果を上げているもの  
A：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの  
B：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの  
C：未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価  
項目① 基本戦略に基づく行動計画の実施状況について

進捗状況評価	S	A	B	C	計
29年度	7個 33.3%	10個 47.6%	4個 19.0%	0個 0.0%	21個 100.0%

資料3-①

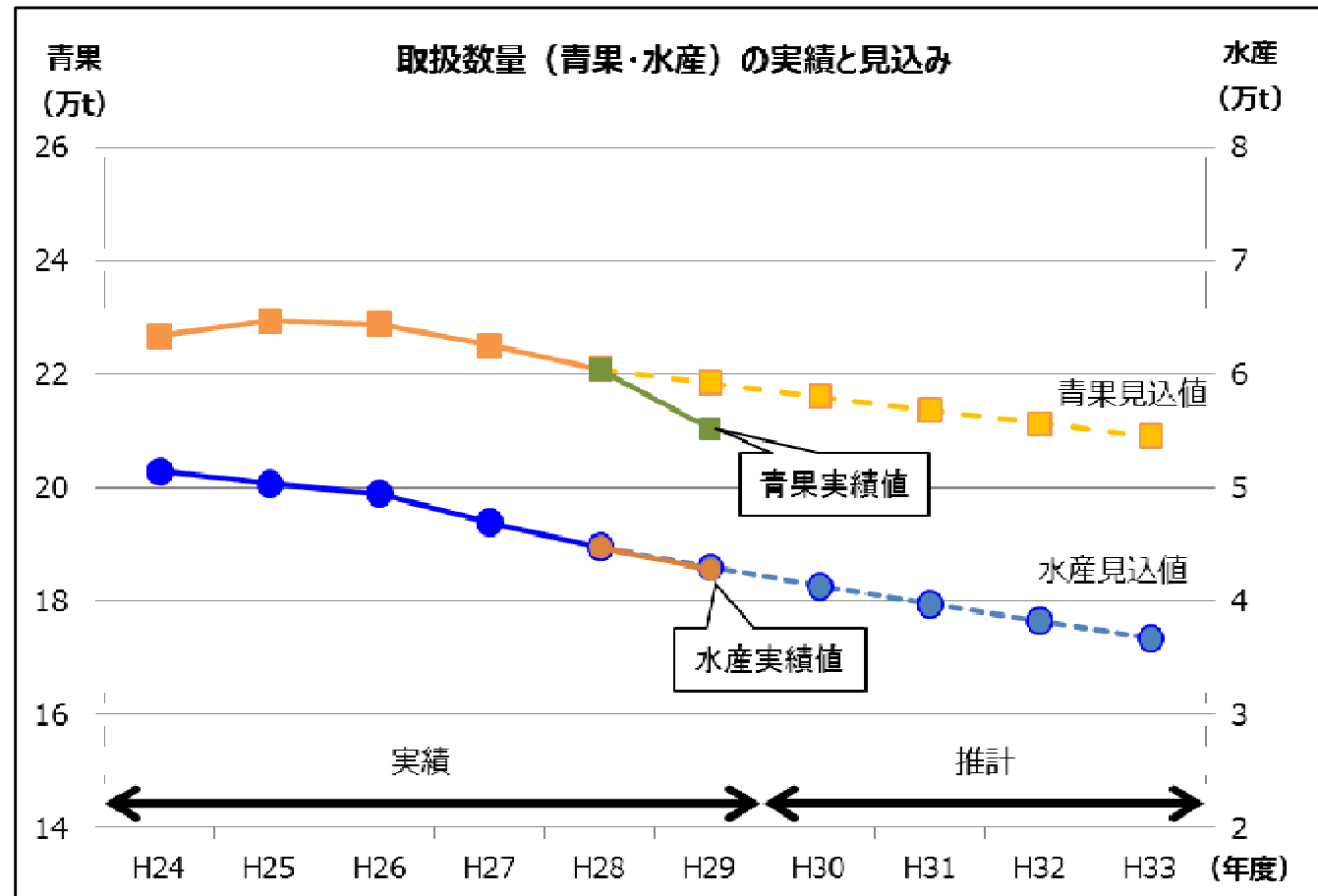
基本戦略	基本戦略に基づく行動計画	評価 29年度	取組 期間 ※	取組主体					平成29年度 の取組み (実績)	平成30年度 以降の取組み (予定)
				卸	仲卸	関連 事業者等	開設者	指定 管理者		
<b>5 場内事業者の「自律的な取組み」を重視する市場</b>										
場内一丸での場内ルール順守の徹底	(1)直接集荷や第三者販売等の申告の適正化  ※直接集荷：仲卸業者が市場内の卸売業者以外から買入れて販売すること。 ※第三者販売：卸売業者が市場内の仲卸業者、売買参加者以外の第三者に販売すること。	S	継続	◎	◎	○	◎	○	○直接集荷報告に関しては、その都度指導を継続している。 【直接集荷報告額：29年度 125億8,284万円 (28年度実績 128億2,645万円、前年度比 1.9%減)】  ○14社を対象として実施した仲卸業者検査、2社を対象として実施した卸売業者検査において、直接集荷や第三者販売の状況確認を実施したところ目立った違反事例はなく、これまでの取組みの成果をあらためて確認した。	○直接集荷報告に関してはその都度指導を継続しており、かつて遅延が目立った仲卸業者からも期限を順守した届出が提出されている。  ○仲卸業者18社、卸売業者2社を対象として実施した検査において、直接集荷や第三者販売の状況確認を実施したところ目立った違反事例はなく、引き続き適正な業務の確保に努めていく。
	(2)施設の無断使用の防止、ルールの構築(施設利用状況の情報共有)	S	短期	○	○	○	◎	◎	○指定管理者において次の取組みを行った。 ・防犯パトロールの強化 ・不法駐車多発帯ヘガードレールを設置 ・場内ルールと器物損壊対策等を徹底するため、新たに防犯カメラ40台を設置 【29年度末設置台数 140台】	○市場のメイン道路の不法占有問題について、事故の懸念・苦情が続発したことから、指定管理者において、道路標示の引き直し、ポストコーンの設置等により、利用秩序の維持・回復を図った。  ○引き続き、指定管理者において施設の無断使用の防止、ルールの構築に努めていく。【30年度：防犯カメラ設置台数8台】
	(3)災害等に強い市場づくり (BCPの随時見直し、防災訓練の実施)	A	継続	○	○	○	◎	○	○指定管理者が、29年7月末に非常用備蓄セット付き自動販売機を水産棟に設置し、同年8月末には非常用備蓄セット500セットを管理棟に配備した。 【飲料水2000本、保存パン400缶、だしがゆ900袋、ハヤシライス100個、ライスクッキー500個、携帯トイレ1000個】  ○指定管理者が、火災発生時における従業員の技術向上と相互協力体制の強化を図るとともに、防災意識の高揚を図るため、茨木市消防本部の協力を得て30年3月にA E D講習会、避難訓練及び消防訓練を実施した。	○30年6月18日に発生した大阪北部地震は、災害への備えの重要性を再確認する機会となった。 場内事業者とその認識を深めるべく、BCP計画に基づく情報伝達訓練及び意見交換を実施しており、これらの取組みを踏まえて、引き続き災害対応への啓発やBCP計画及び消防計画の随時見直しを図っていく。  ○指定管理者において、災害復旧対策従事者用食材・資材を備蓄した。
	(4)安全で環境にやさしい市場づくり (LED導入、自然エネルギーの活用)	S	継続	○	○	○	◎	◎	○指定管理者において青果・水産棟事務所廻り等、主に照明器具の故障修繕の際にLED照明に交換、29年度の交換台数は合計194台となった。 【24年度からの累計：359台】	○指定管理者において、水産買出人駐車場照明器具他5件の修繕工事等でLED照明に交換、30年度の交換台数は合計1,737台となった。  ○引き続き、指定管理者において市場内照明器具のLED化を順次進め、スマート市場の実現を図る。【24年度からの累計：2,096台】
	(5)清潔で美しい市場づくり (品質管理、廃棄物減量化)	A	継続	○	○	○	◎	◎	○指定管理者においてごみ集積場の利用時間を制限するとともに、ごみ集積場にゲートを設置 (28年12月完了) し、利用時間以外は施錠するなど更なるごみ減量化対策を継続・徹底した。 ＜不法投棄件数＞ ・30年3月 12件 ⇒ ピーク時に比べ約90%減少 ＜廃棄物排出状況：29年度＞ ・排出量6,582トン(対前年度比20%減) 処理費用37,507千円(対前年度比26%減)  ○指定管理者において仲卸棟2階トイレ(20か所)に高感度の炎・煙感知センサーを30年1月に設置するとともに、喫煙コーナーを12か所整備し禁煙対策を徹底した。	○指定管理者においてごみ減量化対策を継続し場内事業者に徹底する。  ○30年4月に「喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱」を制定し、指定場所以外での喫煙などのルール違反者については、入場禁止処分とするなど分煙を徹底している。 現時点で、禁煙推進指導員は場内関係者46名に委嘱。 喫煙コーナーを1か所整備 (累計13か所)。

S：実施し、顕著な成果を上げているもの  
A：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの  
B：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの  
C：未実施

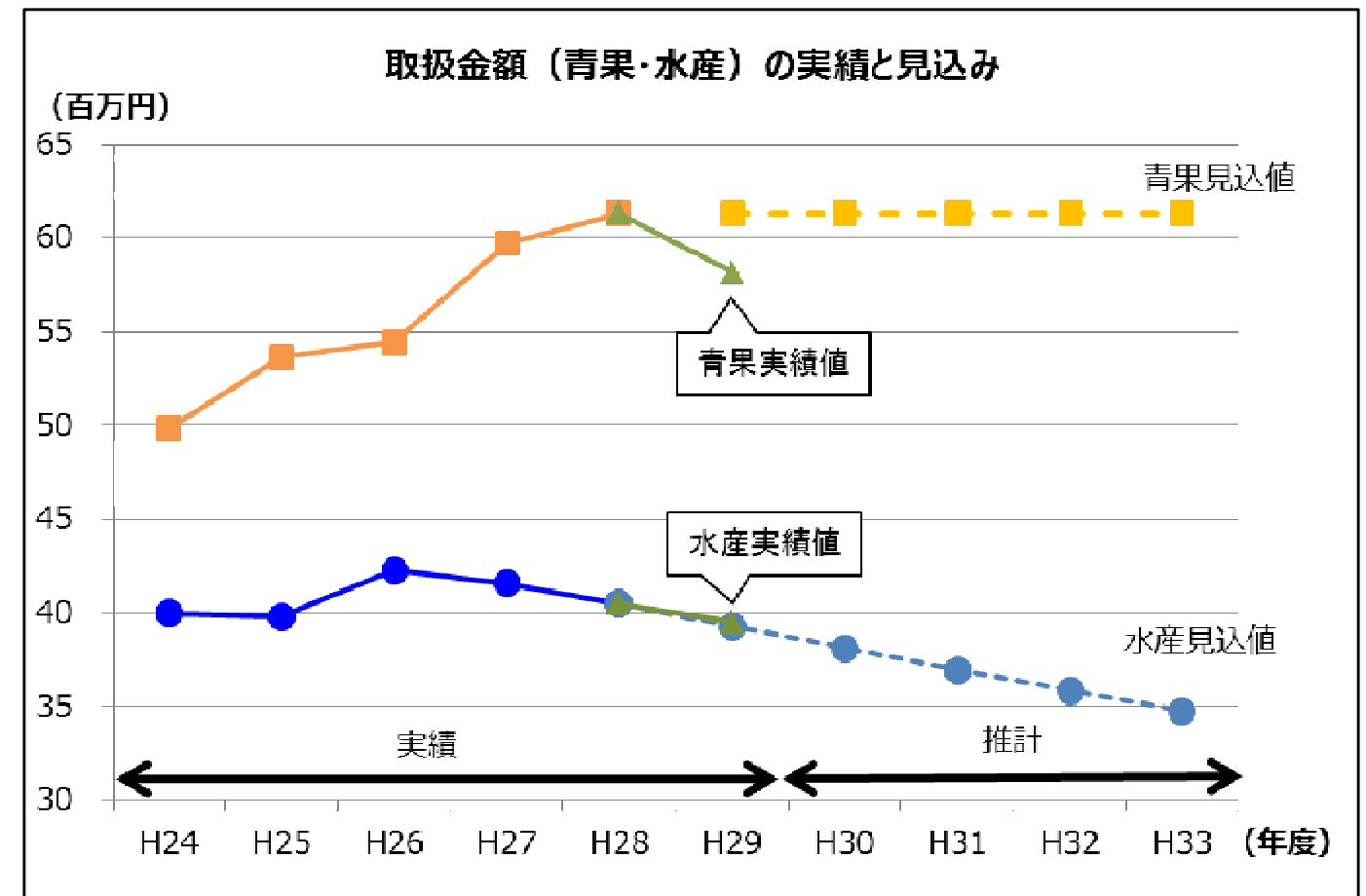
# 大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価

## 項目② 取扱高の状況

【取扱数量】



【取扱金額】



【取扱数量】

	28年度実績	29年度実績	対前年比	(参考) 経営展望見込値
青果	21.9 万t	21.3 万t	97.3 %	21.8万t
水産物	4.5 万t	4.3 万t	95.6 %	4.3万t
合計	26.4 万t	25.6 万t	97.0 %	26.1万t

【取扱金額】

	28年度実績	29年度実績	対前年比	(参考) 経営展望見込値
青果	61,177 百万円	58,140 百万円	95.0 %	61,301百万円
水産物	40,371 百万円	39,166 百万円	97.0 %	39,267百万円
合計	101,548 百万円	97,306 百万円	95.8 %	100,568百万円

## 大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価

### 項目③ 施設整備の実施状況

#### ●対象期間中に施設整備を行うもの

	施設整備の名称	整備予定年度					実施状況
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
1	高圧受変電設備改修工事	○			○	○	平成29年度 冷蔵庫棟、管理棟及び一般加工施設について改修工事を実施
2	高圧幹線設備改修工事				○	○	
3	低圧共用幹線設備改修工事					○	
4	直流電源設備改修工事	○	○				平成29年度 冷蔵庫棟について改修工事を実施するとともに、青果棟について実施設計を実施
5	中央監視設備改修工事				○	○	
6	冷却水設備改修工事	○	○				平成29年度 水産仲卸棟東系統について実施設計を実施
7	昇降機設備改修工事	○	○				平成29年度 青果棟A 4コアについて実施設計を実施
8	受水槽設備改修工事			○	○		

#### ●対象期間中に収支状況や採算見直しに応じて整備を検討するもの

	施設整備の名称
1	荷捌き・積み込みスペースの充実 ex. 駐車スペースの活用方法、平面駐車場の植込みの移設や外周道路の再編
2	遮熱対策（クーラー排熱対策、断熱塗装など） ex. 水産仲卸売場の全面的な低温化



大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗管理と評価

項目④ 収支計画の状況

【市場会計の収支計画】

(開設者会計と指定管理者会計の合算、納付金は計上せず)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
市場事業収益 (a)	2,011	1,971	1,946	1,943	1,942
営業収益	1,789	1,789	1,789	1,789	1,789
売上高割利用料金	239	239	239	239	239
施設利用料金	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059
雑収益	491	491	491	491	491
営業外収益	222	182	157	154	153
市場事業費用 (b)	2,117	2,010	1,870	1,878	1,922
営業費用	2,099	1,988	1,846	1,854	1,896
市場管理費	1,593	1,611	1,545	1,553	1,563
減価償却費等 (γ)	506	377	301	301	333
営業外費用	18	22	24	24	26
単年度損益 (a)-(b)-建設改良費の消費税+控除対象外消費税	▲ 133	▲ 68	64	45	1
資金ベースの収支差額 {(a)-長期前受金戻入} - {(b)-(γ)-(控除対象外消費税)}	317	296	361	353	342

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
市場事業資本的収入	249	199	159	215	201
企業債	206	151	106	161	152
出資金	43	48	53	54	49
市場事業資本的支出	512	540	320	438	408
建設改良費	425	444	214	329	310
企業債償還金	87	96	106	109	98

【指定管理者の修繕費・活性化対策費】

修繕費	提案額 64,800千円 (税抜60,000千円)
活性化対策費	提案額 75,600千円 (税抜70,000千円)

【収支計画の達成状況】

(単位：百万円、税込)

	29年度			主な要因
	計画	実績	計画との比較	
市場事業収益 (a)	2,011	1,928	▲ 83	
営業収益	1,789	1,738	▲ 51	
売上高割利用料金	239	241	2	—
施設利用料金	1,059	1,059	0	—
雑収益	491	438	▲ 53	単価下落にともなう光熱水費の減少
営業外収益	222	190	▲ 32	他会計補助金の減
市場事業費用 (b)	2,117	2,001	▲ 116	
営業費用	2,099	1,968	▲ 131	
市場管理費	1,593	1,456	▲ 137	修繕費・委託費等の市場管理費の減
減価償却費等 (γ)	506	512	6	—
営業外費用	18	33	15	消費税及び地方消費税の増加
単年度損益 (a)-(b)-建設改良費の消費税+控除対象外消費税	▲ 133	▲ 91	42	単年度損益：計画と比べ42百万円の収支改善 (市場事業収益は減少したものの、市場事業費用の減少幅が、 収益の減少幅を上回ったため)
資金ベースの収支差額 {(a)-長期前受金戻入} - {(b)-(γ)-(控除対象外消費税)}	317	350	33	資金ベースの収支：計画と比べ33百万円の改善

	計画	実績	計画との比較	主な増減要因
市場事業資本的収入	249	173	▲ 76	
企業債	206	130	▲ 76	建設改良費の圧縮に伴う企業債発行の減少
出資金	43	43	0	—
市場事業資本的支出	512	351	▲ 161	
建設改良費	425	264	▲ 161	大規模改修に係る経費の入札による圧縮
企業債償還金	87	87	0	—

(単位：百万円、税込)

	提案額	実績	達成度 (%)	備考
修繕費	65	109	168%	施設の維持・補修に大きく貢献
活性化対策費	76	93	122%	市場の活性化に大きく貢献